

保育園での保育士の仕事とは？

園長 竹内悠古

保育園で働いて、20年目を迎えました。今日まで、この仕事を続けてこられたのは、子どもたちと一緒に成長していける仕事だったからだと思います。



未来に向かって、自分の可能性を咲かせていく子どもたちと過ごせる毎日は、輝いています。悩むことも、大変なこともあったのですが、そういうことは意外と覚えてなく、子どもたちと一緒に感動したこと、笑い合ったこと、悔し涙を流したことを思い出として覚えています。担任として3才から5才まで持ち上がり、初めて卒園式を迎えた時の気持ちは、今でも覚えています。大好きな子どもたちと離れるのが悲しくて、せつなくて、思わず小学校の先生になりたいともなりました。けれど、誇りを胸に卒園していく姿は、本当に嬉しくて、最初は赤ちゃんだった彼、彼女らが、一年一年成長し、自分らしく未来へとすすむ姿を見て、ここまで一緒に成長させてもらえるこの仕事の素晴らしさを感じた時でもありました。最初に送り出した子どもたちは、今、大学生になり、自分の夢にむかって歩んでいます。そんな様子を年賀状で知って、ニンマリする時がまた、幸せです。

保育者は、その子の人生の大切なスタート地点に寄り添うことができる仕事です。こどもにとっては、初めて出会う「先生」です。園長になってからは、先生たちも輝いてほしいと思うようになりました。保育者一人一人の自分のことが大好きな力も大切です。自分の得意を出しあい、協力しあって保育をつくっていくことで、どんなことも乗り越えていけます。大人もこどもも安心して、輝くことができる保育園になりたいと考えています。



三滝山登山

園長させてもらっていますが、子どもたちと遊べる時が一番幸せです。